



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ

http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

消防署員招き防災懇談会



志津南地区自主防災連
絡会(結城隆之会長)は
5月23日、若草第5集
会所で湖南広域消防局南消
防署の高谷幸一防災指導
係長ら署員4人を招いて
防災懇談会を開催しまし
た。

南消防署員から災害防止対策の話を
聞く参加者

この日は当初、消火設
備点検や消火栓の取り扱
いなど実地訓練を予定し
ていましたが、雨天のため
懇談会に切り換えたも
ので、地区内9町内会の
会長、防災部長ら16人が

カーナビ盗にご用心

新聞報道などによると、5
月初めに草津市内で車7台が
荒らされ、カーナビ
ゲーション7台など
150万円相当が盗
まれる事件が発生し
ました。このほか、
草津・栗東市内では
4月にも24件のカー
ナビ盗があったと伝
えています。



いずれも運転席や助手席の
窓ガラスが割られていたとい
うことです。

志津南地区でも最近、
同様の被害が相次いで
おり、とくに屋外駐車してい
る人は注意を怠らないように
して下さい。

新車の購入後に
取り付けたカー
ナビのほか、標準装備として
組み込まれていたカーナビも
被害に遭っています。

被害に遭った車はい
ずれも民家や契約駐車
場などのガレージ外の
場所に多かったという
ことです。

出席しました。

懇談会ではビデオ「今一度火
の用心」を観賞。寝たばこ、調
理時に衣服に火がつく着火火災
など、高齢者の生活の場にひそ
む火災の恐ろしさを学びました。

若草一・二丁目が合同清掃

9日午前、若草東児童公園周辺
と若草一丁目児童遊園、第一集
会所周辺を中心に地域初の合同
清掃を実施、約150人の住民
が参加しました。前日は女性
も参加して草刈機などで児童公
園内の草刈を実施、公園内と歩
道を清掃しました。

平成22年度の志津南地区一
斉清掃は7月、11月の2回計
画されていますが、梅雨前は新
芽や雑草が伸びる時期でもあり、

環境美化の一環として両町内会
の福利環境部長が中心となって
今回の合同清掃を計画したもの
です。

夏まつりは7月24日に

つりは7月24日(土)午後5
時30分から若草中央児童公園
で開催されます。

当日の案内状(お楽しみ抽選
券付き)と模擬店チケットの申
込書を広報紙と一緒に各家庭に
配布しました。

このあと、高谷係長らが家庭
用消火器の取り扱い方と保守点
検の励行、差しっぱなしのコン
セントの定期点検など、自分で
出来る火災予防の注意点を説明。
最後に高谷係長が家具の倒壊防
止策など地震対策に触れた後
「激震に見舞われた時何を持っ
て逃げますか」と参加者全員に

質問。「何も持たずに」「ケー
タイだけ」「非常袋を」など、
さまざまな答えに「うなぎなが
らも、高谷係長は「(命以外の)
何も持たず、とにかく逃げて下
さい」と説くと参加者は納得顔
有意義な学習のうちに懇談会を
終えました。

若草一・二丁目町内会は5月

環境美化の一環として両町内会
の福利環境部長が中心となって
今回の合同清掃を計画したもの
です。

例年この時期、伸び放題の雑
草もきれいに刈り取られ、遊ん
でいる児童や保護者も気持ち良
く楽しんでいただいているので
はと感じています。

これからも続けて行きたい事
業の一つです。
第13回志津南ふれあい夏まつり

7月4日に一斉清掃

度第1回の地域の一斉清掃を7
月4日(日)に実施することを
決めました。当日は各町内所定
の集合場所(公園)に8時30
分に清掃用具をもって集合して
ください。

なお、雨天の場合は7月18日
(日)に延期となります。

す。申込書に必要数量をご記入
の上、7月4日までに各班長さ
んまで届けてください。

お申し込みいただいたチケット
は代金と引き換えに7月11
日以降にプログラムと一緒に
届けます。

雨天の場合でも模擬店販売は
行います。後日の払い戻しは
いたしませんので必ずチケットと
交換してください。

志津南地区自治連合会は今年

彦根でわんぱくプラザ

手作りろうそくに挑戦

手作りろうそくに挑戦するわんぱくたち



協力者を含む47人は彦根城表門前で、手作りろうそく組と彦根城見学組の2グループに分かれ、各実施所に向かいました。

手づくりろうそく体験は「夢京橋あかり館」で。たまご型、キノコ型、球体などのろうそくの土台に手でこねて作ったさまざまな色のろうそくのパーツを粘土細工の要領で、押し付けて思い思いの形に仕上げていきました。

「わんぱくプラザ南っ子・地域協働合校」の今年度最初の事業「手作りろうそくに挑戦」が5月15日、彦根で催されました。

34人の子どもたちと地域の志津南市民センター（公民館）は受動喫煙の防止のため、7月1日から市民センター館内での喫煙を原則禁止とすることにしました。

公民館全面禁煙に

これまでは、中庭での喫煙を可としましたが、中庭

公民館全面禁煙に

も禁煙としますのでご協力をお願いします。なお、駐輪場横を唯一の喫煙場所といたしますが、まわりの方の受動喫煙とならないよう配慮をお願いします。

エル、アヒルやひこちゃん、リンなどが出来上がり、コーディネートをして作品が完成。

一方、彦根城見学では、狭い階段を登り、天守閣で琵琶湖を一望、天下を取った気持ちに浸り感激。天守閣前広場では、ひこにや

やすらぎ学級が開講



5月26日、志津南市民センターの平成22年度「やすらぎ学級」開講式が同センターで行われました。写真。

講師は堅田在住の濱本捷子（かつこ）さんと盲導犬のドゥーリーくん。

「かつちゃん、拝まんせ」と題した講演中のおよそ80分間、ドゥーリーくんは、じっと濱本さんの足元に寄り添っていました。

んのお尻ふりふりのパフォーマンスを楽しみました。その後体験活動を交代し、各々の体験を終えました。快晴に恵まれ、暑い日でしたが子どもたちは元気いっぱい楽しく活動した一日でした。

50歳を過ぎた頃、京都ライトハウスという、中途失明者を対象にした訓練施設に入り、ここで盲導犬と出会い、希望や夢をもてたことなどのお話に、受講生は身体を乗りだして聞いて

佐川美術館で名画鑑賞

ふれあいバスツアーに33人



息子さんたちの「いくつになっても、かつこいいおかあさんでいろよ」の言葉に励まされ、厳しい訓練に耐えた様子やうれしかったこと、失敗したことなど、涙と笑いでお話しされ、大きな拍手に包まれました。

講話のあと、ハーネスを外してもらったドゥーリーくんは、受講生みんなの中を走り回り、愛嬌を振りまいていました。濱本さんの明るい笑顔とドゥーリーくんの献身ぶりに受講生みんな、ほんわか心を満たされたようでした。

ボランティアグループ泉は5月20日、恒例の高齢者ふれあい事業を実施、33人が守山市の佐川美術館などを訪ねました。写真。

湖周道路を走るバスの窓外には田植えを終え水をたたえた水田が広がり、畦には餌をさがしているのか、はたまた何かを見つめているように立つアオサギも見かけられました。そうこうしているうちに目的

地「佐川美術館」に到着。美術館は琵琶湖に面し、まわりは水庭というつくり。広い館内をまず平山郁夫画伯の展示室へ。被爆体験を持つ画伯は仏教に深い関心を寄せ、仏教伝来の壮大なテーマ「シルクロード」の大作をはじめ、サラエボ戦禍跡にたずむ子どもたち、アフガニスタン、インド仏教等々平和への祈りをこめた世界観が表現されています。「あつ、これが仏教現象世界山脈の連なり須弥山ね」とソファに腰を下ろし、しばし見入ったり、叙情的な作品の数々に圧倒された様子でした。

このほか、大正ロマン豊かな「竹久夢二」展も開催中で、少し体をくねらせた立ち姿の夢二美人画を堪能しました。

美術館のあとはホテルラフォーレ琵琶湖で。12階から望むおだやかな湖を眺めながらの昼食。琵琶湖大橋など景色も一品となつて和やかに話しがはずんでいました。食後は買い物と、少し早めの午後2時に市民センターに無事帰着。こうして25回目「さあ秋はどこかしら、楽しみにしています」と、もう次回を期待されつつ解散しました。（ボランティアグループ泉）

「ニュースポーツ講習会」に90人参加

志津南地区体育振興会(中本勝三会長)は5月30日、志津南小体育館でディスコン、スロージョウゴというニュースポーツの講習会を開催、幼稚園児を含め高齢者ら約90人が参加しました。



全員でストレッチ体操のあと、4グループに分かれ、草津市体育指導員のルール説明を聞いた

参加者は、ディスコンをポイントに近づけるディスコン、砂が入った袋を縦横25の柵目に投げて並べるスロージョウゴの2

新一年生の歓迎会

志津南地区子ども会は5月8日、志津南市民センターで新入生の歓迎会を実施し写真、今年入学した1年生19人と2、6年生46人の合計65人が参加しました。

歓迎会ではまず1年生が自己紹介。2、6年生を前にして緊張もあつたと思いますが、みんな大きな声でハキハキと自己紹介してくれました。最初のピンゴゲームでは子ども達の緊張もとけ、和気あいあいとした中、開始からわずか5球目でピンゴが出ました。幸運



の持ち主は1年生の男子でした。ゲームは先着10人に景品が、それ以外の子ども達には参加賞

このゲームを楽しみました。団体振は8月および10月にニュースポーツ講習会の実施を予定しており、より多くの人々に経験をさせていただきたいと思っています。

6月27日(日)には、志津南小学校体育館においてビーチボール、ディスコンの第3回「ニュースポーツ大会を開催しますので、皆さんの参加をお願いします。(志津南地区体育振興会)

が出るということで、中盤(20球)に差し掛かった頃には、あちこちから「リーチ」の声。次々当選者が出る中、焦りの表情と期待に胸を膨らませて番号を聞く子ども達。最後の1人にピンゴが出た時、リーチを掛けながらも当たらなかった子ども達の悔しそうな表情が印象的でした。次に行ったダンボール玉入れは、学年別に男女に分かれ、新聞紙で作ったボールをダンボール箱投げ入れ、その合計点数を競い合うゲーム。1年生同士の間決では、両チームとも2、6

カートリッジ回収箱設置

志津南小PTAはこのほど、ベルマーク収集活動協賛社のキヤノンとセイコーエプソン社製のプリンターの使用済みインクカートリッジ回収箱を志津南市民センター(公民館)の蛍光灯処分箱の横に設置しました。同小PTAはベルマーク点数を集め、1点1円として換算、学校備品の購入に使っています。この使用済みインクカートリッジは1個5点のベルマーク点数

が楽しく過ごせたのではないかと思います。特に1年生が最後までやり遂げてくれたことをうれしく思いました。(子ども会会長 西脇 達)

資源ごみを回収

子ども会年間4回計画している子ども会の資源回収が6月6日行われました。この日は玄関先に出された新聞や段ボールなどをゴミ



資源ごみを回収する子どもたち

ステーションまで運ぶお手伝いをしました。暑い中でしたが、子ども達は普段行わない重たい新聞などを運びリサイクルを身近に感じられたことと思います。今回の回収では、約1300kgの回収量がありました。子ども達で回収した資源ごみの収益は、子ども会の運営費としてこれからの行事に還元していくことにしています。

また、9月と10月にも予定していますので、積極的に参加して頂きたいと思えます。

- 6月18日(金) 地域課題講座 「認知症」サ-タ-養成講座 10:00~12:00
- 6月19日(土) 健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
- 6月22日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 6月23日(水) やすらぎ学級 13:30~17:00
- 6月24日(木) 家庭教育支援講座 10:00~12:00
- 6月26日(土) 社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 6月27日(日) 第3回ニュースポーツ大会 志津南小学校体育館
- 7月1日(木) 家庭教育支援講座 10:00~12:00
- 7月2日(金) 定例健康相談日 9:30~12:00 健康推進課
ふれあい昼食会 12:00~13:00
ボランティア「泉」
- 7月3日(土) 健康ウォーキング 8:15 若草中央公園集合
- 7月4日(日) 町内一斉清掃 8:30 所定の公園に集合
- 7月10日(土) わんぱく・地域協働合校 10:00~12:00
- 7月13日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
毎週金曜日
ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00
若草第五集会所
印の場所は志津南市民センター(公民館)です



若草中央公園の緑道に立つ少女

少女像

ショッピングモール若草前の
像。草津市が昭和63年度から平成12年度にかけ
て実施した「街角ホット事業」で市内28か所に
設置した彫刻シリーズの一つで、胸元に小鳥を
抱き明日を見つめるかのようにならずにいる。
像のプレートに刻まれた「あしたへ」という

「お茶の間」でくつろぐ参加者



愛称は「お茶の間」に

志津南地区社会福祉協議会が
住民交流・憩いの場として立ち
上げたふれあいサロンも3か月
が過ぎ、毎回30人前後の方々
の参加をいただいています。参
加者にこのサロンの愛称を募っ
た結果、「お茶の間」に決まり
ました。温かなそとどこか懐
かしい言葉です。これからも当
サロンをどうぞよろしくお願

します。
ある金曜日の様子をご紹介します。

広いテーブルを囲み常連さん
や初めての方も茶菓を楽しみな
がら和やかに話しも弾んでいま
す。折り紙を楽しむ方、有志手
作りのくるみ大ぐらいはありそ
うな大きなビー玉ゲームに夢中
になったり、色鉛筆を使う流行
の大人の塗り絵に挑戦の方や篆
刻(てんこく)が趣味の方のお
話しを聞いたり…。壁を画面に

「むれやまの自然、そこにつつ
ましく咲く可憐な笹ゆり」のパ
ソコン像が写されたりそれぞれ
のお席でゆったりとしたひと時
が流れています。また、ヨチヨ
チ歩きのボクちゃんとお母さん
も参加、そのしぐさの愛らしさ
に笑顔の輪も更に大きくなりま
した。
また、お誕生会を3か月ごと
に開く計画もしています。第1
回は4〜6月生まれの方を対象
に6月に開きます。
毎週金曜日10時から正午ま
でお好きな時間に若草第五集會
所でお茶しませんか。(参加費
百円)

セラバンド講座開講

セラバンド(ゴムのベルト)
を使った高齢者向けの健康トレ
ニング講座を次の要領で開講し
ます。

開催日 7月9日(金)、16
日(金)、22日(木)

時間 10時〜12時

内容 高齢者向け健康増進
トレーニング

定員 なし

受講料 900円

締切 6月30日(水) 17時

対象 市内に在住か在勤の

折々の記

60歳以上の人
場所 市民センター(公民館)

申し込み、問い合わせは志津
南市民センターへ

4月か
ら志津南
市民セン
ター(公
民館)が
日曜・祝
日休館となつた。市の事業仕
分けの結果だそう。なんで
も日祝日に行われていた住民
票など証明書類の発行が本庁
で取りやめることになったの
に伴い、公民館もこれに連動
したのでという。
人件費や公民館経費の観点
からかと思っ
たが、本庁の
証明書類の発
行停止が前面
に出ているようで、いささか
首をかしげた。もしそうなら
公民館での発行業務だけを停
止し住民に周知すれば済む話
で休館にしてしまう必要はな
いのではないか。
公民館(市民センター)は
いうまでもなく、サークルや
グループ活動などを含めた地
域住民の交流拠点である。勤
めにしぼられる住民は土曜、
日祝日しか自由な時間を持つ
ことができない。その貴重な
日祝日に公民館を使用できな
くなったことは、ある意味で
行政サービスの切り下げと受
け止められても仕方あるまい。
以前、公民館長は民間から
任命されていたことがある。
役所の視点でなく住民の視点
で公民館が運営されていた。
それが市民センターの併設に
伴い職員に肩代わりされ、
公民性が薄まり出先機関性が
強まった。
今回の措置はこの延長線上
にあるような気がしてならな
い。おかげで会場探しに苦労
する人が増
えたのでは
なからうか。

増えた休館日

いまや事
業仕分けは、国はもろろん県
や市など自治体レベルでも盛
んだ。ムダをなくし少しでも
財政の健全化につなげる手法
として異論はないが、仕分け
に当たっては財政面のみでの観
点からだけではなく、今行わ
れている事業の持つ意味合い
を十分に吟味した上で仕分け
してもらいたい。

公民館の日祝日全面休館実
施に際してこんなことを思っ
た。

(へんぺん草)